



みどりが丘小だより

7月号令和8年6月25日発行
小川町立みどりが丘小学校

「言葉は人をつくる」

校長 船田真由美

今、みどりが丘小学校では、たくさんの命が育っています。1年生のアサガオ、2年生のミニトマトやナスなどの野菜、3年生はホウセンカ、4年生はゴーヤとヘチマ、5年生のバケツ稲、そして6年生のジャガイモ。校内を歩いていると、子供たちがうれしそうに声を掛けてくれます。「校長先生、花が咲いたよ。」「実がなったよ」…キラキラした表情で教えてくれる姿を見るたびに、私までうれしい気持ちになります。植物は一日で大きくなるわけではありません。毎日少しずつ成長し、やがて花を咲かせ、実を付けます。子供たちの成長も同じなのだと思います。

先日、ある本の中で、おもちゃコレクターとして知られる北原照久さんの言葉に出会いました。

「体は食べ物でつくられる。心は聞いた言葉でつくられる。未来は話した言葉でつくられる。」

「体は食べ物でつくられる」これは子供たちにも分かりやすい言葉です。毎日の給食や家庭での食事が、子供たちの体をつくっています。バランスのよい食事で、丈夫な体をつくってほしいと思います。

では、心は何によってつくられるのでしょうか。北原さんは、「心は聞いた言葉でつくられる」と言います。

周囲から与えられる様々な言葉は、私たちの心を動かします。一瞬でうれしい気持ちにしてくれる言葉もあれば、悲しく辛い気持ちにになってしまう言葉もあります。私たちは小さい頃から、家族や友達、先生方など、多くの人からたくさんの言葉を受け取りながら育ってきました。その言葉が心をつくり、育ててきたのだと思います。

みどりが丘小学校では、**承認や励ましの言葉、心が温まる言葉で子供たちの心を育てていきたい**と考えています。

5年生の宿泊学習では、カレー作りやキャンプファイヤーなど、仲間と協力しなければ成り立たない活動がたくさんありました。そこでは、「ありがとう」「手伝うよ」「大丈夫」…そんな温かな言葉が飛び交っていました。6年生の社会科見学でも同じです。国会議事堂や科学技術館を訪れた一日、友達同士で声を掛け合いながら行動する姿がたくさん見られました。また、縦割り活動では、高学年が下級生を気遣いながら活動を進めています。優しく声を掛けてもらった下級生は安心し、頼りにされた高学年はうれしそうな表情を見せています。こういうことが、「心は聞いた言葉でつくられる」という姿なのだと思います。

では、「未来は話した言葉でつくられる。」とはどういうことなのでしょう。

私たちは言葉を使って考え、行動します。**プラスの言葉を使って考えると、プラスの行動になります。反対に、マイナスの言葉を使って考えると、マイナスの行動になりがちです。**「やってみよう」「きっとできる」「頑張ってみよう」…そんな言葉を口にすると、不思議と前を向いて行動することができます。反対に、「どうせ無理」「やりたくない」「めんどくさい」…という言葉ばかりを口にしていると、挑戦する前からあきらめモードになってしまいます。**言葉には、人を動かす力があります。それは周りの人だけではありません。自分自身を動かす力でもあります。**「未来は話した言葉でつくられる」。この言葉には、**自分が発した言葉が行動を生み、その行動が未来をつくっていく**という意味が込められていると思います。

だからこそ、**子供たちには夢や目標、自分の思いを言葉にしてほしい**と思います。「やってみよう」「こんな自分になりたい」「みんなで頑張りたい」…そんな言葉が、未来への第一歩になるはずです。

早いもので、1学期もあと20日ほどとなりました。宿泊学習や社会科見学、縦割り活動など、様々な場面で子供たちの成長を感じた1学期でした。その成長を支えているのは、家庭や地域、学校で交わされる日々の言葉です。子供たちが聞く言葉、そして子供たち自身が話す言葉をこれからも大切にしていきたいと思います。

同時に、子供たちの心を育てる教職員もまた、子供たちのよさや努力を認め、励まし、挑戦を後押しする言葉を大切にしながら、一人一人の成長を支えてまいります。



身の回りの 整理整頓をしよう



フラダンスにスポーツジム、好奇心旺盛の3年担任と学生時代はサッカー部で大活躍だった行動派の5年担任。今月は、そんな『パワフルな』二人に、【み小の子供たちのよさ】と【子供と向き合う時に大切にしていること】を聞いてみました。

(3年担任)

- ・み小の子供たちのよさは「思いやり」があるところです。トイレのサンダルをそろえてくれる人、下級生に優しい人、落ちたものを拾ってくれる人…相手のためにさっと動ける「思いやり」。
- ・私が大切にしていることは、「待つ」ということです。時間がかかっても一生懸命やっている子供たちを待つ。子供たちが経験するための時間の確保を心がけています。

(5年担任)

- ・み小の子供たちのよさは、「友達と協力して活動するところ」です。行事、委員会活動などで力を合わせ、声をかけ合いながら取り組む姿がたくさん見られます。
- ・私が大切にしていることは、「子供たち一人一人の思いを受け止めること」です。話を最後まで聞くこと、表情や様子から気持ちをくみ取することを心がけています。

みどりが丘写真館



【2年生：音楽朝会】



【4年生：平和学習～一つの花～】



【3年生：理科の実験】



【6年生：社会科見学～国会～】



【1年生：もっとなかよくなろう会】



【水泳学習スタート】



【5年生：宿泊学習～げんきプラザ～】



【児童集会：運動会赤白決め】



【学級会の様子】

【学級会がんばります】

R8 み小は、学級会に力を入れています。友達と話し合いながら課題を解決する経験を通して、自分の考えや思いを伝える力や互いを認め合う力を育みたいと思います。子供たちがよりよい学級（学校）づくりの担い手になるよう支援してまいります。

【シェイクアウト訓練について】

本校では、地震発生時に自ら命を守る行動を身に付けることを目的として、学期に一回程度「シェイクアウト訓練」を実施する予定です。

シェイクアウト訓練とは、地震が起きた際にその場で安全を確保するための基本行動である「まず低く」「頭を守り」「動かない」を実践する防災訓練です。災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。そのため、本校では実際の災害に近い状況を想定し、日時を知らせない「予告なし訓練」として実施します。予告なし訓練には、子供たちが自ら判断し、落ち着いて行動する力を育てるねらいがあります。

一方で、地震や緊急放送に強い不安を感じたり大きな音が苦手だったりするなど、事前の配慮が必要なお子様もいます。そのような場合には、個別に対応を検討いたしますので、心配なことがありましたら担任までお知らせください。

子供たちの大切な命を守る力を育むため、ご理解とご協力をお願いいたします。